

# 教会歴史と教義と聖約における意義深い関係の例

## 例1

1823年9月にクモラの丘を訪れた後、ジョセフ・スミスは自分の経験と天使モロナイの訪れについて家族に詳しく話しました。身近な人たちにも経験と示現を伝え続けました。こうした神聖な出会いについて、預言者の母ルーシー・マック・スミスは次のように記しています。



「毎晩、わたしたちは子供を集めました。かつて地上で暮らしたどんな家族にもない、特異な光景が展開されていたのではないかと思います。全員が輪になって座り、父親も母親も、息子たちも娘たちも、かたずを飲んで……少年が語る宗教の教えに耳を傾けました。……

……この上なくすばらしい結びつきと幸福感が家中にみなぎっていました。争いや不一致で平和が乱されることはなく、平安がわたしたちを包んでいました。」（ルーシー・マック・スミス『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』486で引用）

- スミス家について印象に残ったのはどのようなことですか。
- ジョセフが家庭で感じた愛は、ジョセフがその重要な召しを果たすのにどのように役立ってきたでしょうか。
- この例から、有意義な人間関係を通して、神はあなたをどのように祝福してくださるか、あなたはどのように人が祝福されるのを助けられるかについて、どのようなことが学べるでしょうか。

## 例2

イリノイ州ノーブーに住んでいたとき、ジョセフ・スミスは有意義な人間関係がもたらす恩恵を思い起こし、次のように語っています。



「もしこの世で苦しみを受けなければならないのであれば、周囲の至る所に兄弟や友を見いだせる場所にいられることは、最も大いなる祝福の一つであると思います。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』466）

- 困難な課題に直面しているとき、家族や友達はどのような助けになるでしょうか。
- 家族や友達が人生に祝福をもたらしてくれる方法には、ほかにどのようなものがありますか。

## 例3

教義と聖約108：7を読み、主が七十人のライマン・シャーマンに与えられた勧告を見つけてください。

- この勧告に従うのが難しいときがあるのはなぜでしょうか。
- 人との交流によって、自分が強められたり、高められたりしたように感じたことはありますか。それはどのようなときでしたか。